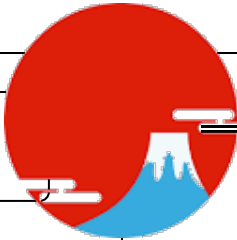


パーキンソン病について No8

話題の新薬 カナリア配合錠



## パーキンソン病の薬物治療について

### モノアミン酸化酵素 B(MAO-B)阻害薬

#### ① 作用

ドパミンを脳内で分解してしまう「MAO-B」の働きを抑え、ドパミンの量が減らないようにします

#### ② 特徴

ドパミンの効き目を長続きさせます  
ウェアリング・オフ現象を改善します

#### ③ 薬剤名

- エフピーOD錠 2.5  
1日2回 7.5~10mg (朝・昼食後)

#### ④ 副作用

L-Dopa製剤の効き目を長続きさせるため、幻覚・妄想やジスキネジアといったL-Dopa製剤で見られる副作用が新たに発現したり、増強される場合もあります

### カテコール-O-メチル基転移酵素(COMT)阻害薬

#### ① 作用

ドパミンの原料となる物質L-Dopaを分解してしまう酵素「COMT」の働きを抑え、L-Dopaを黒質に届けやすくします

#### ② 特徴

パーキンソン病における症状の日内変動の改善に用いられる

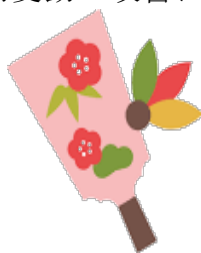
#### ③ 薬剤名

- コムタン錠 100mg  
1回100~200mg 1日1~8回

#### ④ 副作用

●L-Dopa製剤の効き目を長続きさせるため、幻覚・妄想やジスキネジアといったL-Dopa製剤で見られる副作用が新たに発現したり、増強される場合もあります

●着色尿  
暗い黄色、赤みがかかった茶色い尿がでることがあります。健康に影響はありません



## 2型糖尿病治療剤

第一三共は、2型糖尿病治療剤「カナリア配合錠」を販売した。DPP-4阻害薬「テネリア 20mg」とSGLT2阻害薬「カナグル 100mg」の配合剤で、2つの成分を組み合わせた配合剤は国内初となる。DPP-4阻害剤による血糖依存的なインスリン分泌促進作用、およびSGLT2阻害剤による腎臓でのグルコース再吸収抑制作用の2つの異なる作用機序を有する薬剤である。用法・用量は、1日1回1錠を朝食前または朝食後に経口投与する。配合剤にすることにより服薬錠数が減少し、服薬アドヒアランスの向上が期待できる。

薬価 1錠=300.3円

## 副作用情報 イーケプラ

ユーシービージャパンから販売されている抗てんかん剤の「イーケプラ錠 250.500mg・点滴静注 500mg」は、直近3年5か月の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「悪性症候群関連症例」が2例(うち死亡0例)報告された。そのため重大な副作用の項に「悪性症候群」が追記された。



## 健康食品の被害、報告の義務化

食品の安全対策を話し合う厚生労働省の有識者会議は、健康食品による健康被害について国への報告を義務づけることなどを柱にした報告書をまとめた。同省は今後、食品衛生法改正などを検討する。健康食品については、法律上の明確な定義はない。品質管理の法的な規制もないため、安全性の確保は業者の自主性に委ねられている。報告書は、「健康被害の防止のため、法的措置による規制の強化も含めた実効性のある対策の検討を行うべきだ」と指摘。健康被害の報告義務化のほか、製造業者を把握する仕組み作りなどを提言した。

